



## 2020年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年3月18日

上場会社名 サツドラホールディングス株式会社  
 コード番号 3544 URL <https://satudora-hd.co.jp>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富山 浩樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 吉田 俊哉

TEL 011-788-5166

四半期報告書提出予定日 2020年3月23日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年5月16日～2020年2月15日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	67,717	6.8	578	62.1	644	71.0	6	
2019年5月期第3四半期	63,405	7.7	356	32.7	377	29.9	62	70.5

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 37百万円 ( %) 2019年5月期第3四半期 78百万円 ( 63.6% )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	1.38	
2019年5月期第3四半期	13.62	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第3四半期	39,721	8,120	20.4
2019年5月期	35,867	8,463	23.1

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 8,084百万円 2019年5月期 8,270百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		28.00	28.00
2020年5月期		0.00			
2020年5月期(予想)				28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年5月16日～2020年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,100	5.3	600	39.3	600	33.7	150		32.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年5月期3Q	4,742,000 株	2019年5月期	4,742,000 株
2020年5月期3Q	147,474 株	2019年5月期	147,436 株
2020年5月期3Q	4,594,562 株	2019年5月期3Q	4,594,564 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復して推移しているものの、米中貿易摩擦の激化や中国経済の減速、慢性的な労働力不足などに加え、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大などの影響により、景気の先行きに対し予断を許さない状況にあります。

当社グループの主要事業が属するドラッグストア業界では、高齢化社会の進展による健康・美容ニーズの高まりなどを背景にその市場規模は拡大を続けておりますが、医薬品販売等の規制緩和にともなう他業界からの進出や消費者の節約志向にともなう熾烈な低価格競争などを受け、企業の生き残りをかけた統合・再編の動きも活発化しております。また、「第4次産業革命」における先進テクノロジーの戦略的な有効活用は、今後の企業の成長や存続に大きな影響を及ぼす状況となっております。

当社グループは、これらの経営環境の変化を更なる成長機会と捉え「第2創業期」と位置付け、ドラッグストア店舗のチェーン展開を中心とする「リテール事業」や小売企業が抱える共通の業務課題をITで解決する「ITソリューション事業」などを手掛け、リアル店舗を持つ強みを活かしながら既存事業の拡大と新規事業への進出を図ることでグループ全体の成長を目指しております。

そして、上記事業展開を踏まえた中期経営計画を策定し、その実現に向け取り組んでおりますが、新規事業での追加コストの発生や収益モデル化の遅れなどに加え、既存事業でも人件費の上昇や国際情勢の悪化など、計画時点で想定していなかった事象も発生しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は677億17百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は5億78百万円（前年同期比62.1%増）、経常利益は6億44百万円（前年同期比71.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益62百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当社グループは「小売事業」の単一セグメントでありましたが、経営管理体制の見直しに伴う経営資源配分の決定方法及び業績評価方法の類似性・関連性を踏まえ、事業区分及び事業活動の実態を適切に表すとともに、事業内容を明瞭に表示する目的で、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を「リテール事業」「ITソリューション事業」に変更しております。

セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んで記載しております。また、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### <リテール事業>

リテール事業に関しましては、主に北海道内でのドミナント化を目指したドラッグストアフォーマットでのチェーン展開と訪日外国人が多く訪れる観光地等でのインバウンドフォーマットの運営を行っております。

当第3四半期連結累計期間につきまして、出店状況は、積極出店戦略を継続する一方、不振店舗のスクラップ等にも着手しており、下表の通りとなっております。また、営業面では、ESLP（エブリデー・セイム・ロープライス）を中心とする低価格戦略を継続するとともに、当期より地域の健康プラットフォーム化を目指したウェルネス事業部を新設し、ドラッグストアや調剤薬局の枠を超えた健康サービスの提供に取り組むことで差別化を図っております。これらの結果、ドラッグストアフォーマットの売上高は堅調に推移いたしました。

これに対し、インバウンドフォーマットの売上高は、中国での電子商取引規制の強化や日韓関係の悪化などに加え、1月下旬以降の新型コロナウイルスの感染拡大による訪日外国人観光客の減少などにより、低調に推移いたしました。また、台湾の業績は、収益モデル化の開発が急務となっております。

以上の結果、リテール事業は、セグメント売上高674億45百万円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益5億39百万円（前年同期比73.1%増）となりました。

(出店状況)

店舗区分	フォーマット区分	2019年5月度末	増加	減少	2020年2月度末
ドラッグストア 店舗	ドラッグストア フォーマット	175店舗	4店舗	5店舗	174店舗
	インバウンド フォーマット	29店舗	1店舗	4店舗	26店舗
調剤薬局店舗	門前調剤	10店舗	－店舗	－店舗	10店舗
その他の店舗	北海道くらし百貨店	4店舗	－店舗	1店舗	3店舗
国内 計		218店舗	5店舗	10店舗	213店舗
ドラッグストア店舗 (台湾)		5店舗	1店舗	2店舗	4店舗
合計		223店舗	6店舗	12店舗	217店舗

<ITソリューション事業>

ITソリューション事業に関しましては、当社グループ向けに開発した技術をもとに、ユーザー目線での課題解決を目指したPOSアプリケーションやAIカメラプラットフォーム等の販売を行なっております。

当第3四半期連結累計期間につきまして、POSアプリケーション関連では、既存取引先への軽減税率対応やキャッシュレス化に向けた開発などを行っております。

なお、AIカメラプラットフォーム関連の開発を推進していたAWL株式会社について、株式の一部を2019年9月20日公表の「連結子会社の異動（子会社株式の譲渡）及びAWL株式会社との業務提携締結に関するお知らせ」のとおり、2019年9月30日付にて譲渡し、第2四半期連結会計期間より、AWL株式会社及び当該会社の100%子会社であるAWL VIETNAM CO., LTDを当社連結から除外いたしました。

以上の結果、ITソリューション事業は、セグメント売上高83百万円（前年同期比66.0%減）、セグメント損失68百万円（前年同期はセグメント損失14百万円）となりました。

<その他事業>

その他事業に関しましては、主に、共通ポイントや多様なQR決済を利用した地域密着のマーケティングサービス、インバウンド関連のノウハウを活用した支援サービス、小中学生向けのプログラミングスクールの運営などを行っております。

その他事業は、セグメント売上高4億95百万円（前年同期比44.7%増）、セグメント損失11百万円（前年同期はセグメント利益13百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ38億53百万円増加し397億21百万円となりました。これは主に、有形固定資産が10億1百万円増加したことに加え、当第3四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったことにより、現金及び預金が7億20百万円、売掛金が9億57百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ41億97百万円増加し316億円となりました。これは主に、当第3四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったことにより、短期借入金が16億円減少したものの、買掛金が48億86百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億43百万円減少し81億20百万円となりました。これは主に、利益剰余金が、配当金の支払により1億28百万円減少したことおよび、非支配株主持分が1億60百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期連結業績予想につきましては、現時点では2019年12月20日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,834	2,555
売掛金	1,825	2,782
商品	8,832	9,362
その他	1,596	2,173
流動資産合計	14,088	16,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,386	7,409
土地	5,480	5,624
その他（純額）	1,609	2,443
有形固定資産合計	14,475	15,477
無形固定資産	541	403
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,450	5,641
その他	1,364	1,388
貸倒引当金	△76	△76
投資その他の資産合計	6,738	6,953
固定資産合計	21,755	22,835
繰延資産	23	11
資産合計	35,867	39,721

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月15日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,174	13,060
短期借入金	2,800	1,200
1年内返済予定の長期借入金	2,836	2,919
未払法人税等	238	154
賞与引当金	444	255
その他	2,367	2,982
流動負債合計	16,860	20,572
固定負債		
長期借入金	8,823	9,202
退職給付に係る負債	464	503
資産除去債務	457	471
その他	797	850
固定負債合計	10,542	11,028
負債合計	27,403	31,600
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	2,099	2,099
利益剰余金	5,474	5,304
自己株式	△305	△306
株主資本合計	8,267	8,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	4
為替換算調整勘定	4	△12
退職給付に係る調整累計額	△5	△4
その他の包括利益累計額合計	2	△13
新株予約権	0	2
非支配株主持分	193	33
純資産合計	8,463	8,120
負債純資産合計	35,867	39,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年5月16日 至2019年2月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年5月16日 至2020年2月15日)
売上高	63,405	67,717
売上原価	48,202	51,490
売上総利益	15,203	16,226
販売費及び一般管理費	14,846	15,648
営業利益	356	578
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	19
固定資産受贈益	58	39
その他	44	82
営業外収益合計	121	142
営業外費用		
支払利息	55	54
開業費償却	13	6
その他	32	14
営業外費用合計	100	75
経常利益	377	644
特別利益		
固定資産売却益	18	-
特別利益合計	18	-
特別損失		
店舗閉鎖損失	9	46
固定資産除却損	12	84
減損損失	34	184
関係会社株式売却損	-	85
災害による損失	107	-
特別損失合計	164	399
税金等調整前四半期純利益	231	245
法人税等合計	167	267
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63	△21
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△15
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	62	△6



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月16日 至 2019年2月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月16日 至 2020年2月15日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63	△21
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	10	△17
退職給付に係る調整額	4	0
その他の包括利益合計	14	△15
四半期包括利益	78	△37
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76	△22
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年5月16日 至 2019年2月15日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール 事業	IT ソリューション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	63,115	205	63,321	84	63,405	—	63,405
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	40	52	258	311	△311	—
計	63,128	245	63,374	342	63,716	△311	63,405
セグメント利益又は損失(△)	311	△14	297	13	310	45	356

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マーケティング事業及び教育事業を含んでおります。

2. 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び持株会社運営に係る費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年5月16日 至 2020年2月15日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール 事業	IT ソリューション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	67,435	67	67,502	214	67,717	—	67,717
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	16	26	281	307	△307	—
計	67,445	83	67,528	495	68,024	△307	67,717
セグメント利益又は損失(△)	539	△68	471	△11	459	118	578

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マーケティング事業及び教育事業を含んでおります。

2. 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び持株会社運営に係る費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「小売事業」の単一セグメントでありましたが、経営管理体制の見直しに伴う経営資源配分の決定方法及び業績評価方法の類似性・関連性を踏まえ、事業区分及び事業活動の実態を適切に表すとともに、事業内容を明瞭に表示する目的で、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を「リテール事業」「ITソリューション事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。